

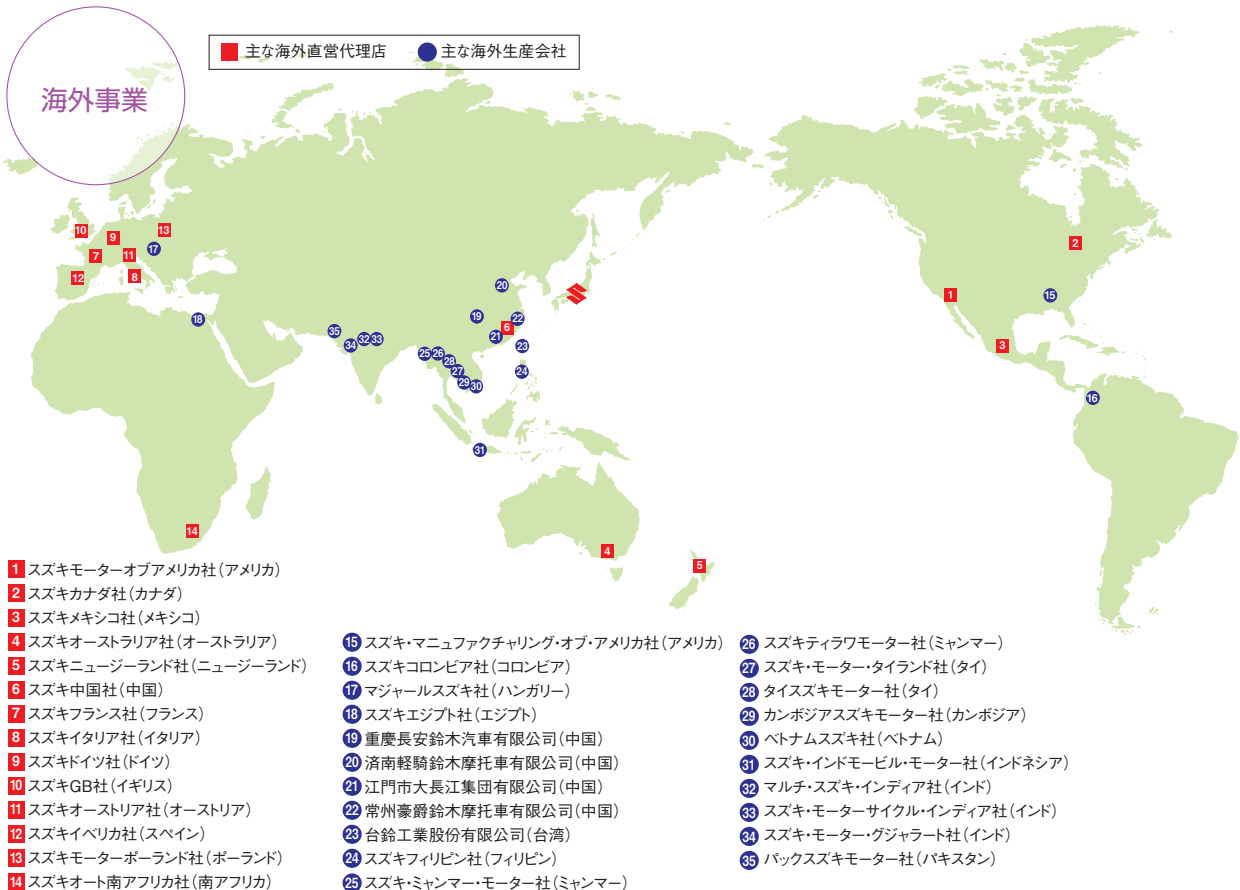
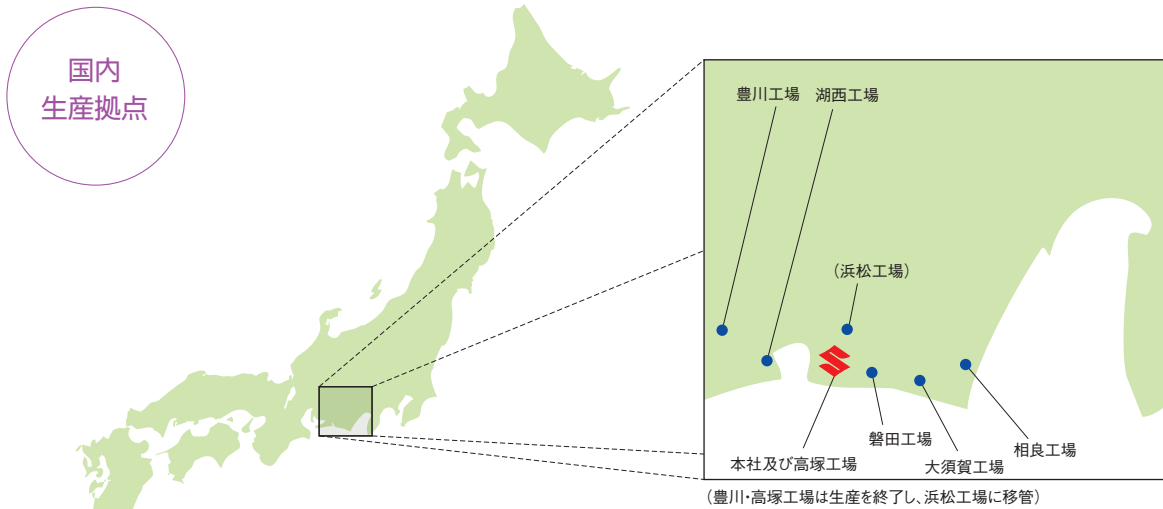
# データ集

会社概要	130
環境データ	132
環境取り組みの歴史	145
会社データ	147

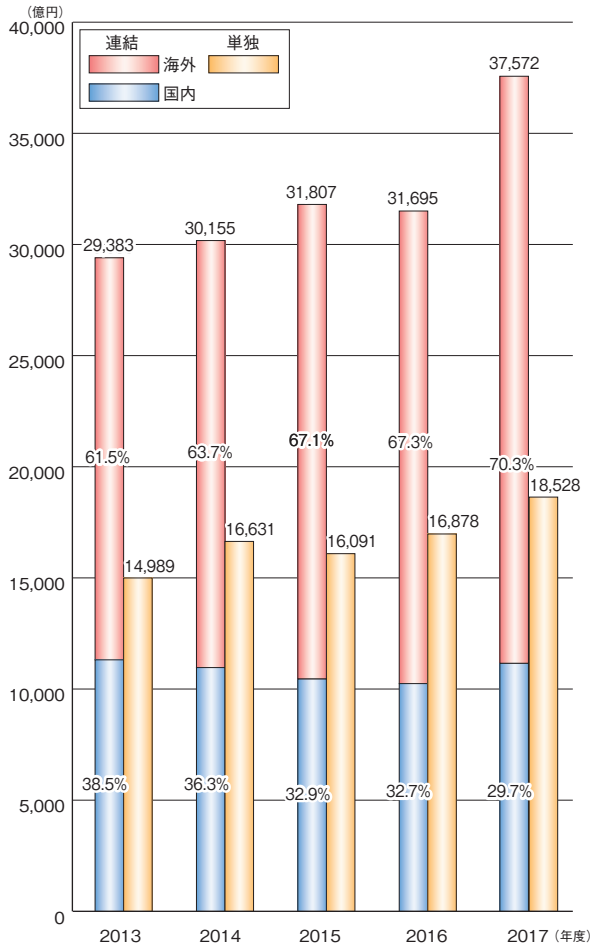
# 会社概要

(2018年3月31日現在)

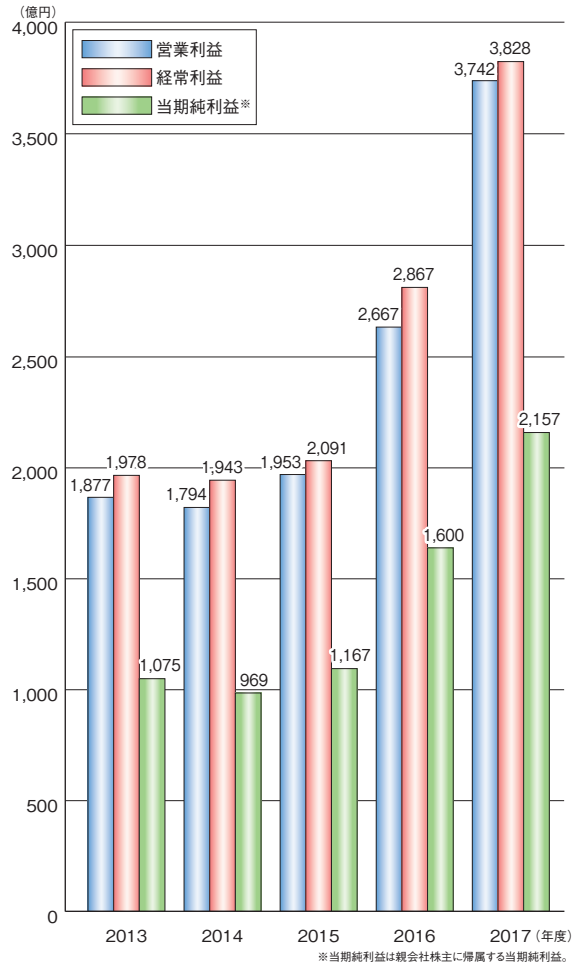
- |                |                             |               |                             |
|----------------|-----------------------------|---------------|-----------------------------|
| ■ <b>社名</b>    | スズキ株式会社                     | ■ <b>主要製品</b> | 四輪車・二輪車・船外機・電動車いす等          |
| ■ <b>設立</b>    | 1920年(大正9年)3月               | ■ <b>資本金</b>  | 1,380億円                     |
| ■ <b>本社所在地</b> | 〒432-8611<br>静岡県浜松市南区高塚町300 | ■ <b>従業員数</b> | 15,269人<br>(連結会社合計 65,179人) |
| ■ <b>代表者</b>   | 代表取締役 社長 鈴木 俊宏              |               |                             |



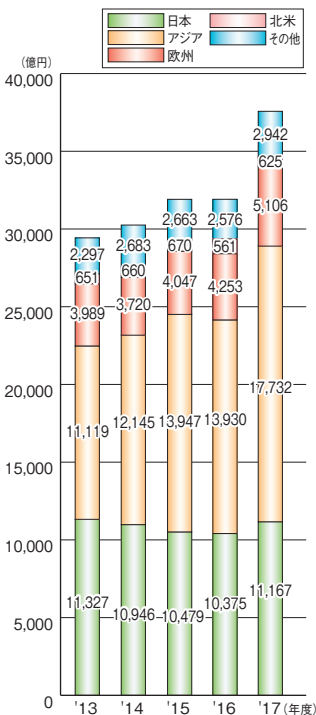
◆売上高推移



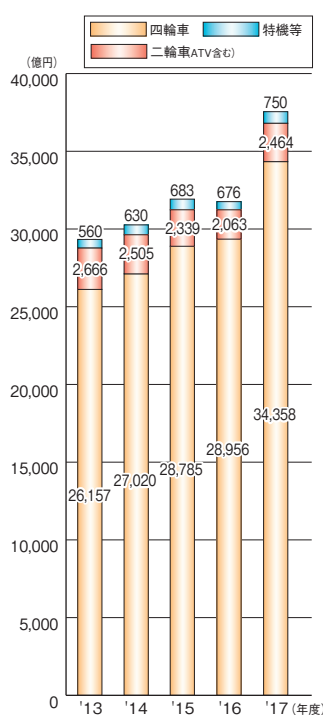
◆利益の推移(連結)



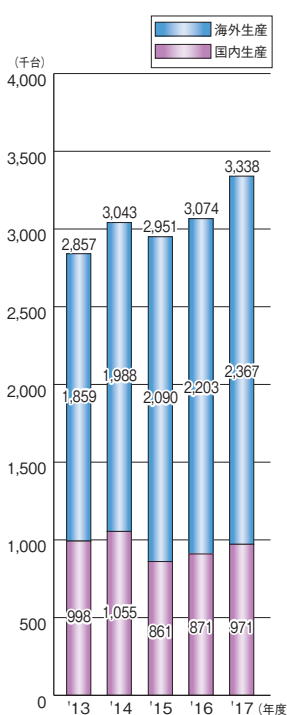
◆地域別売上高推移(連結)



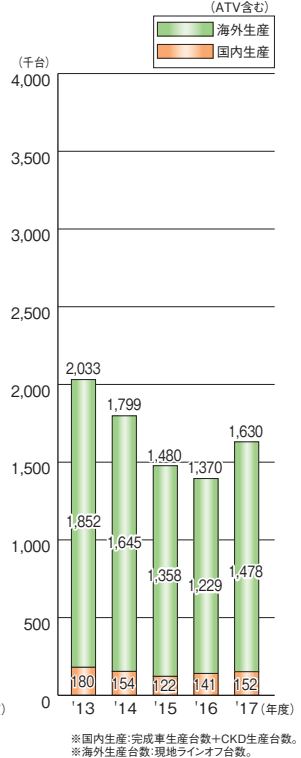
◆事業別売上高推移(連結)



◆四輪車生産台数推移



◆二輪車生産台数推移

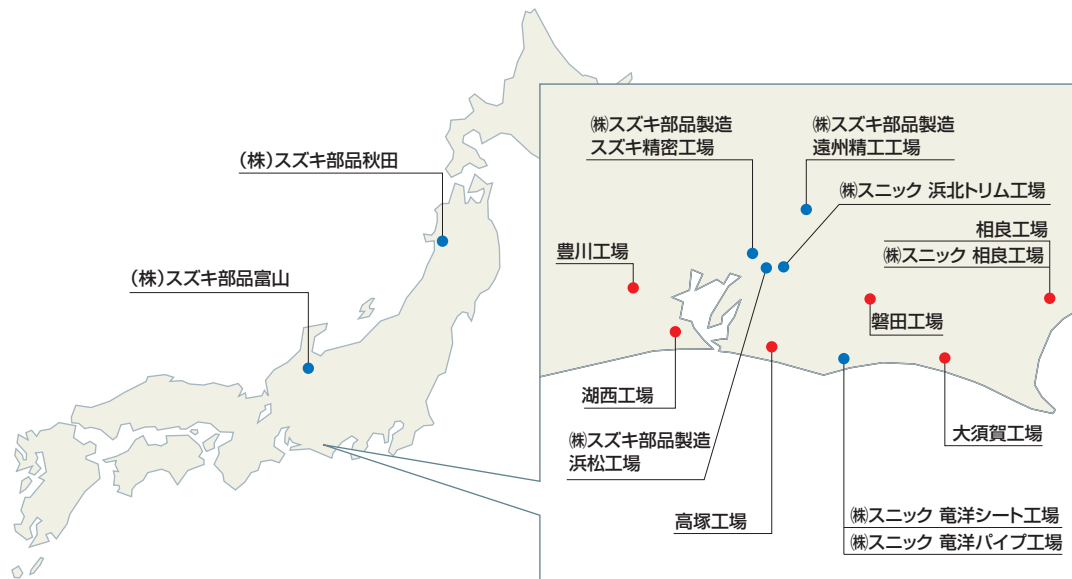


## 環境データ

### スズキ国内工場・国内グループ製造会社の水質・大気・PRTR等データ

地域に愛される企業を目指して、スズキ国内工場・国内グループ製造会社では、環境保全活動等に積極的に取り組んでいます。ここでは、2017年度の環境データを紹介します。

#### スズキ国内工場・国内グループ製造会社



#### <環境データ>

国内工場・国内グループ製造会社は法令・条例・協定による環境規制を受けており、それぞれの最も厳しい数値を基準に環境負荷低減を進めています。その最も厳しい基準の7割を社内基準に設定し、積極的に環境負荷低減と環境事故の発生抑制に努めています。

[環境データの表の見方]

- ・規制値は水質汚濁防止法、大気汚染防止法、県条例、公害防止協定のうち、最も厳しい値。
- ・各項目、物質の単位は、下表の通り。

#### <水質>

記号	名称	単位
pH	水素イオン濃度	なし
BOD	生物化学的酸素要求量	mg/L
COD	化学的酸素要求量	mg/L
SS	浮遊物質量	mg/L
-	油分	mg/L
-	鉛	mg/L
-	クロム	mg/L
-	全窒素	mg/L
-	全リン	mg/L
-	亜鉛	mg/L
-	鉄	mg/L

#### <大気>

記号	名称	単位
NOx	窒素酸化物	ppm
SOx	硫黄酸化物	K値
-	ばいじん	g/Nm <sup>3</sup>
-	塩素	mg/Nm <sup>3</sup>
-	塩化水素	mg/Nm <sup>3</sup>
-	フッ素及びフッ化水素	mg/Nm <sup>3</sup>
-	ダイオキシン類	ng-TEQ/Nm <sup>3</sup>
CO	一酸化炭素	ppm
VOC	揮発性有機化合物	ppmC

#### <PRTR>

記号	名称	単位
PRTR対象物質	化学物質排出把握管理促進法(特定)第1種指定化学物質	kg/年

はじめに

環境

CSR

コーポレート  
ガバナンス

データ集

ガイドライン対照表

## スズキ国内工場

## 湖西工場



- 【業務内容】 軽乗用車の完成車組立および  
四輪車エンジンの組立等
- 【敷地面積】 1,190,000m<sup>2</sup>
- 【建物面積】 472,000m<sup>2</sup>
- 【従業員数】 2,196人
- 【所在地】 静岡県湖西市白須賀4520

## &lt;環境データ&gt;

## &lt;主な取水・排水先&gt;

取水源:豊川・地下水 排水先:笠子川

## &lt;水質関係(水質汚濁防止法、県条例)&gt;

項目	規制値	実績	平均
pH	5.8~8.6	7.3~8.0	7.76
BOD	15	0.7~5.7	1.8
COD	30	1.1~15.6	6.6
SS	15	0.0~5.2	1.26
油分	2	0.0~0.7	0.16
鉛	0.1	0.005~0.01	0.006

項目	規制値	実績	平均
クロム	0.4	—	—
全窒素	12	0.92~5.61	1.99
全リン	2	0.06~0.58	0.25
亜鉛	1	0.11~0.11	0.11
鉄	10	0.1	0.1

## &lt;大気関係(大気汚染防止法、県条例)&gt;

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	マ小型貫流ボイラー	150	14~44	23
	N小型貫流ボイラー	150	21~34	26
	KD貫流ボイラー	150	28~77	61
	冷温水機(Jカ)	150	46~62	55
	冷温水機(Nシ)	150	28~37	32
	焼却炉	200	94~95	95
	マト電着乾燥炉	230	42~62	52
	マセ電着乾燥炉	230	19~30	25
	マト上塗乾燥炉	230	29~45	37
	マト中塗乾燥炉	230	30~42	36
	Nト中塗乾燥炉	230	14~38	26
	Nト上塗乾燥炉	230	10~25	18
	Nト中上塗乾燥炉	230	13~14	14
	Nト電着乾燥炉	230	100~159	130
ガスエンジン発電設備	600	261~268	265	
SOx(K値)	焼却炉	7	0.66~0.79	0.73
ばいじん	マ小型貫流ボイラー	0.1	0.005未満~0.006未満	0.005未満
	N小型貫流ボイラー	0.1	0.005未満~0.006未満	0.005未満
	KD貫流ボイラー	0.1	0.005未満~0.017未満	0.007未満
	冷温水機(Jカ)	0.1	0.005未満~0.006未満	0.005未満
	冷温水機(Nシ)	0.1	0.006未満	0.006未満
	焼却炉	0.15	0.005未満~0.007未満	0.006未満
	マト電着乾燥炉	0.2	0.008未満	0.008未満
	マセ電着乾燥炉	0.2	0.009未満	0.009未満
	マト上塗乾燥炉	0.2	0.005未満	0.005未満
	マト中塗乾燥炉	0.2	0.005未満	0.005未満
	Nト中塗乾燥炉	0.2	0.005未満	0.005未満
	Nト上塗乾燥炉	0.2	0.005未満	0.005未満
	Nト中上塗乾燥炉	0.2	0.005未満	0.005未満
	Nト電着乾燥炉	0.2	0.005未満	0.005未満
	ガスエンジン発電設備	0.05	0.012未満~0.013未満	0.013未満

物質	設備	規制値	実績	平均
フッ素	アルミ溶解炉(低圧鑄造①)	3	0.3未満~0.4	0.4
	アルミ溶解炉(低圧鑄造②)	3	0.3未満~0.8	0.6
	アルミ溶解炉(ダイカスト①)	3	0.5	0.5
	アルミ溶解炉(ダイカスト②)	3	0.7~0.9	0.8
	アルミ溶解炉(ダイカスト③)	3	0.7~0.8	0.8
塩素	アルミ溶解炉(低圧鑄造①)	30	1未満	1未満
	アルミ溶解炉(低圧鑄造②)	30	1未満	1未満
	アルミ溶解炉(ダイカスト①)	30	1未満	1未満
	アルミ溶解炉(ダイカスト②)	30	1未満	1未満
塩化水素	アルミ溶解炉(ダイカスト③)	30	1未満	1未満
	アルミ溶解炉(低圧鑄造①)	80	5未満	5未満
	アルミ溶解炉(低圧鑄造②)	80	5未満	5未満
	アルミ溶解炉(ダイカスト①)	80	5未満~50	28
	アルミ溶解炉(ダイカスト②)	80	5未満~17	11
	アルミ溶解炉(ダイカスト③)	80	5未満	5未満
焼却炉	150	7未満~8	8	
ダイオキシン類	焼却炉	5	0.01~12	1.82
CO	焼却炉	100	1未満~5	3
VOC	マト塗装	700	147	—
	Nト塗装	700	119	—
	マハ塗装	700	277	—

はじめに

環境

CSR

コーポレート  
ガバナンス

データ集

ガイドライン対照表

## &lt;PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)&gt;

物質 番号	物質名	取扱量※	排出量				移動量		リサイクル量	分解・ 除去量	製品への 移動量
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
1	亜鉛の水溶性化合物	17,000	0	100	0	0	0	0	0	5,000	12,000
53	エチルベンゼン	190,000	110,000	0	0	0	0	190	31,000	33,000	15,000
80	キシレン	250,000	110,000	0	0	0	0	130	24,000	40,000	70,000
83	クメン	4,000	2,300	0	0	0	0	0	1,600	120	0
239	有機スズ化合物	8,000	0	0	0	0	0	0	400	0	7,600
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	200,000	96,000	0	0	0	0	0	29,000	24,000	47,000
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	57,000	34,000	0	0	0	0	69	8,400	14,000	4.0
300	トルエン	380,000	140,000	0	0	0	0	3.7	16,000	78,000	150,000
302	ナフタレン	6,600	3,700	0	0	0	0	0	5.2	2,900	0.8
309	ニッケル化合物	2,700	0	51	0	0	0	110	1,700	0	800
355	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	100,000	0	0	0	0	0	0	0	1,800	99,000
374	フッ化水素及びその水溶性塩	2,000	0	0	0	0	0	0	0	2,000	0
392	ノルマル-ヘキサン	64,000	600	0	0	0	0	0.1	490	3,000	60,000
400	ベンゼン	11,000	62	0	0	0	0	0	0	510	11,000
407	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル (アルキル基の炭素数が12から15までの もの及びその混合物に限る。)	2,900	0	220	0	0	0	0	0	2,700	0
411	ホルムアルデヒド	4,600	2,300	0	0	0	0	490	490	5,100	0

※ 有効数字2ケタでまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出量、移動量、リサイクル量、分解・除去量、製品への移動量)の合計とずれる場合があります。

はじめに

環境

CSR

コーポレート  
ガバナンス

データ集

ガイドライン対照表

## 磐田工場



【業務内容】	軽・小型乗商用車の完成車組立等
【敷地面積】	298,000m <sup>2</sup>
【建物面積】	147,000m <sup>2</sup>
【従業員数】	1,244人
【所在地】	静岡県磐田市岩井2500

## &lt;環境データ&gt;

## &lt;主な取水・排水先&gt;

取水源:天竜川・地下水 排水先:安久路川

## &lt;水質関係(水質汚濁防止法、県条例)&gt;

項目	規制値	実績	平均
pH	5.8~8.6	6.8~7.8	7.4
BOD	20(15)**	1.5~13.4	5.9
SS	40(30)**	1未満~5.4	3.4
油分	3	1未満~1.0	0.5
鉛	0.1	0.005未満	0.005未満
クロム	2	0.1未満	0.1未満
全窒素	100	3.1~25	13.1
亜鉛	1	0.1~0.2	0.2

※ ( )内は日間平均を示す。

## &lt;大気関係(大気汚染防止法、県条例)&gt;

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	ボイラー3	130	—	—
	冷温水機①	150	91~110	101
	冷温水機②	150	75~82	79
	冷温水機③	150	99	99
	1L電着乾燥炉	230	69~78	74
	1L上塗乾燥炉	230	17未満~26	22
	2L電着乾燥炉	230	20~23	22
	2L上塗乾燥炉	230	20~36	28
ばいじん	ボイラー3	0.25	—	—
	冷温水機①	0.1	0.007未満	0.007未満
	冷温水機②	0.1	—	—
	冷温水機③	0.1	—	—
	1L電着乾燥炉	0.2	0.005未満	0.005未満
	1L上塗乾燥炉	0.2	0.005未満	0.005未満
	2L電着乾燥炉	0.2	0.005未満	0.005未満
	2L上塗乾燥炉	0.2	0.005未満	0.005未満
VOC	中塗1L	700	100~140	120
	上塗1L	700	170~250	210
	中塗2L	700	63~80	72
	上塗2L	700	130~200	165
	バンパー	700	280~340	310

## &lt;PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)&gt;

物質番号	物質名	取扱量*	排出量				移動量		リサイクル量	分解・除去量	製品への移動量
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
1	亜鉛の水溶性化合物	19,000	0	150	0	0	0	0	0	5,500	13,000
53	エチルベンゼン	120,000	64,000	0	0	0	0	0	8,100	30,000	14,000
80	キシレン	160,000	62,000	0	0	0	0	0	6,400	29,000	62,000
83	クメン	1,000	470	0	0	0	0	0	580	0	0
239	有機スズ化合物	3,800	0	0	0	0	0	190	0	0	3,600
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	120,000	55,000	0	0	0	0	0	11,000	17,000	42,000
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	27,000	15,000	0	0	0	0	0	2,500	10,000	0
300	トルエン	320,000	110,000	0	0	0	0	14	1,100	69,000	140,000
302	ナフタレン	3,200	1,800	0	0	0	0	0	0	1,400	0
309	ニッケル化合物	2,100	0	270	0	0	0	1,200	0	0	620
392	ノルマル-ヘキサン	54,000	140	0	0	0	0	0	0	850	53,000
400	ベンゼン	9,500	15	0	0	0	0	0	0	160	9,400
411	ホルムアルデヒド	2,800	1,400	0	0	0	0	330	330	3,300	0
412	マンガン及びその化合物	4,800	0	230	0	0	0	1,300	0	0	3,200

※ 有効数字2ケタでまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出量、移動量、リサイクル量、分解・除去量、製品への移動量)の合計とずれる場合があります。

はじめに

環境

CSR

コーポレート  
ガバナンス

データ集

ガイドライン対照表

## 相良工場



- 【業務内容】 小型車および四輪車エンジンの組立  
エンジン主要部品の鋳造及び機械加工等
- 【敷地面積】 1,970,000m<sup>2</sup>
- 【建物面積】 274,000m<sup>2</sup>
- 【従業員数】 1,816人
- 【所在地】 静岡県牧之原市白井1111

## &lt;環境データ&gt;

## &lt;主な取水・排水先&gt;

取水源:大井川 排水先:蛭ヶ谷川

## &lt;水質関係(水質汚濁防止法、県条例)&gt;

項目	規制値	実績	平均
pH	5.8~8.6	7.3~7.8	7.6
BOD	20(15)*	3.7~9.3	7.1
SS	40(30)*	2~8	5.0
油分	2.5	0.5	0.5

※ ( )内は日間平均を示す。

項目	規制値	実績	平均
鉛	0.1	0.01	0.01
クロム	1	0.04	0.04
全窒素	120(60)*	5.2~11.0	8.4
全リン	16(8)*	2.5~6.4	3.9
亜鉛	1	0.07~0.12	0.09

## &lt;大気関係(大気汚染防止法、県条例)&gt;

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	冷温水機1	150	84~87	85.5
	冷温水機2	150	79~92	85.5
	冷温水機3	150	90~98	94
	冷温水機4	150	81~85	83
	熱処理炉	180	36~47	41.5
	溶解炉1	180	32~33	32.5
	溶解炉2	180	41~42	41.5
	電着乾燥炉	230	17	17
中上塗乾燥炉	230	37~51	44	
ばいじん	冷温水機1	0.1	0.006未満	0.006未満
	冷温水機2	0.1	0.007未満	0.007未満
	冷温水機3	0.1	0.006未満~0.007未満	0.0065
	冷温水機4	0.1	0.007未満	0.007未満
	熱処理炉	0.2	0.008未満~0.01未満	0.009
	溶解炉1	0.2	0.005	0.005
	溶解炉2	0.2	0.005~0.006	0.0055
	電着乾燥炉	0.2	0.013	0.013
	中上塗乾燥炉	0.2	0.009~0.012	0.0105

物質	設備	規制値	実績	平均
フッ素	溶解炉1	3	0.3	0.3
	溶解炉2	3	0.3~0.4	0.35
	溶解炉3	3	0.3	0.3
塩素	溶解炉1	30	1	1
	溶解炉2	30	1	1
	溶解炉3	30	1	1
塩化水素	溶解炉1	80	5	5
	溶解炉2	80	5	5
	溶解炉3	80	5	5
ダイオキシン	アルミ切粉前処理	1	0.00038	0.00038
	溶解炉1	1	0.14	0.14
	溶解炉3	1	0.081	0.081
	ダイカスト溶解炉	1	0.0044	0.0044
VOC	塗装1	400	67	67
	塗装2	400	77	77
	塗装3	400	37	37
	塗装4	700	260	260

## &lt;PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)&gt;

物質番号	物質名	取扱量*	排出量				移動量		リサイクル量	分解・除去量	製品への移動量
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
1	亜鉛の水溶性化合物	15,000	0	150	0	0	0	0	0	4,500	11,000
53	エチルベンゼン	61,000	31,000	0	0	0	0	0	4,800	9,100	16,000
80	キシレン	150,000	35,000	0	0	0	0	1,100	5,100	46,000	73,000
83	クメン	3,500	3,400	0	0	0	0	0	35	50	0
239	有機スズ化合物	2,600	0	0	0	0	0	130	0	0	2,500
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	100,000	45,000	0	0	0	0	0	4,500	15,000	35,000
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	23,000	14,000	0	0	0	0	150	2,100	3,000	3,500
300	トルエン	240,000	24,000	0	0	0	0	33	1,400	73,000	140,000
302	ナフタレン	2,300	1,400	0	0	0	0	0	4.9	920	9.2
309	ニッケル化合物	1,700	0.3	220	0	0	0	980	0.2	0.2	520
355	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	6,400	0	0	0	0	0	0	0	0	6,400
392	ノルマルヘキササン	58,000	380	0	0	0	0	0	720	15,000	43,000
400	ベンゼン	11,000	95	0	0	0	0	0	0	3,000	8,100
411	ホルムアルデヒド	1,000	540	0	0	0	0	100	100	1,100	0
412	マンガン及びその化合物	3,200	0	190	0	0	0	1,100	0	0	1,900

※ 有効数字2ケタでまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出量、移動量、リサイクル量、分解・除去量、製品への移動量)の合計とずれる場合があります。



## 本社・高塚工場



【業務内容】	本社業務、二輪車エンジンの組立、機械加工等
【敷地面積】	183,000m <sup>2</sup>
【建物面積】	163,000m <sup>2</sup>
【従業員数】	9,175人(高塚工場226人)
【所在地】	静岡県浜松市南区高塚町300

## &lt;環境データ&gt;

## &lt;主な取水源・排水先&gt;

取水源:天竜川 排水先:新川

## &lt;水質関係(水質汚濁防止法、県条例)&gt;

項目	規制値	実績	平均
pH	5.8~8.6	7.2~7.5	7.3
BOD	30(20)*	1.0~3.0	1.3
SS	40(30)*	1.2~5.8	3.5
油分	5	0.4~1.3	0.6
全窒素	120(60)*	0.8~4.8	2
全リン	16(8)*	0.06~0.58	0.12
亜鉛	1	0.1~0.48	0.13

※ ( )内は日間平均を示す。

## &lt;大気関係(大気汚染防止法、県条例)&gt;

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	LPG焚き空調機	150	75~100	87.5
ばいじん	LPG焚き空調機	0.1	—	—

## &lt;PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)&gt;

物質番号	物質名	取扱量※	排出量				移動量		リサイクル量	分解・除去量	製品への移動量
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
53	エチルベンゼン	19,000	49	0	0	0	0	0	5.0	18,000	420
80	キシレン	90,000	160	0	0	0	0	0	4.5	89,000	930
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	35,000	11	0	0	0	0	0	4.8	34,000	1,000
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	6,300	2.1	0	0	0	0	0	2.0	6,100	150
300	トルエン	170,000	600	11	0	0	0	0	16	160,000	2,900
308	ニッケル	3,800	0	0	0	0	0	0	2,700	0	1,100
309	ニッケル化合物	3,600	0	0	0	0	0	0	2,600	0	1,100
374	フッ化水素及びその水溶性塩	5,100	0	460	0	0	0	0	0	4,600	0
392	ノルマル-ヘキサン	38,000	180	0	0	0	0	0	1.3	36,000	1,500
400	ベンゼン	8,500	1.4	0	0	0	0	0	0	8,100	340
438	メチルナフタレン	12,000	49	0	0	0	0	0	0	9,800	0

※ 有効数字2ケタでまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出量、移動量、リサイクル量、分解・除去量、製品への移動量)の合計とずれる場合があります。

はじめに

環境

CSR

コーポレート  
ガバナンス

データ集

ガイドライン対照表

## 豊川工場



【業務内容】	二輪車・船外機の完成車組立等
【敷地面積】	139,000m <sup>2</sup>
【建物面積】	75,000m <sup>2</sup>
【従業員数】	452人
【所在地】	愛知県豊川市白鳥町兎足1-2

## &lt;環境データ&gt;

## &lt;主な取水源・排水先&gt;

取水源:地下水 排水先:白川・公共下水道

## &lt;水質関係(水質汚濁防止法、県条例)&gt;

項目	規制値	実績	平均
pH	5.8~8.6	7.2	7.2
BOD	25(20)*	0.6	0.6
SS	70(50)*	6	6
油分	5	0.5	0.5
クロム	2	0.04	0.04
COD(総量)	20.63	1.65~5.34	3.50
全窒素(総量)	15.58	1.25~8.54	4.90
全リン(総量)	2.06	0.05~0.45	0.3
亜鉛	2	0.17	0.17

※ ( )内は日間平均を示す。

## &lt;大気関係(大気汚染防止法、県条例)&gt;

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	吸収式冷水機1	150	64~65	64.5
	乾燥炉1	0.4	0.005	0.005
	乾燥炉2	0.4	0.005	0.005
	吸収式冷水機1	0.1	—	—
VOC	塗装1	700	94	94
	塗装2	700	190	190
	塗装3	700	370	370

## &lt;PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)&gt;

物質 番号	物質名	取扱量*	排出量				移動量		リサイクル量	分解・ 除去量	製品への 移動量
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
53	エチルベンゼン	17,000	11,000	0	0	0	0	770	22	4,600	360
80	キシレン	24,000	13,000	0	0	0	0	970	9.0	7,800	1,500
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	11,000	6,100	0	0	0	0	75	18	3,600	920
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	1,800	1,200	0	0	0	0	10	2.0	620	0
300	トルエン	120,000	60,000	0	0	0	0	2,500	7,800	44,000	2,900
392	ノルマルヘキサン	3,100	27	0	0	0	0	0	0	2,000	1,100
400	ベンゼン	560	2.5	0	0	0	0	0	0	370	190

※ 有効数字2ケタでまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出量、移動量、リサイクル量、分解・除去量、製品への移動量)の合計とずれる場合があります。

はじめに

環境

CSR

コーポレート  
ガバナンス

データ集

ガイドライン対照表

## 大須賀工場



【業務内容】	鋳造部品の製造等
【敷地面積】	151,000m <sup>2</sup>
【建物面積】	55,000m <sup>2</sup>
【従業員数】	386人
【所在地】	静岡県掛川市西大淵6333

## &lt;環境データ&gt;

## &lt;主な取水源・排水先&gt;

取水源:地下水 排水先:西大谷川

## &lt;水質関係(水質汚濁防止法、県条例)&gt;

項目	規制値	実績	平均
pH	5.8~8.6	6.3~7.4	7.0
BOD	15(10)*	0.2~3.4	1.0
SS	15(10)*	0.0~4.4	0.5
油分	2	0.0~0.9	0.1
鉛	0.1	0.005未満	0.005未満
クロム	2	0.1未満	0.1未満
全窒素	120(60)*	0.6~6.9	3.9
全リン	16(8)*	0.08~0.52	0.28
亜鉛	1	0.1未満~0.23	0.04

※ ( )内は日間平均を示す。

## &lt;大気関係(大気汚染防止法、県条例)&gt;

物質	設備	規制値	実績	平均
ばいじん	鋳鉄溶解炉	0.1	0.01未満	0.01未満
	アルミ溶解炉	0.2	0.01未満	0.01未満
塩素	アルミ溶解保持炉	0.2	0.01未満	0.01未満
	アルミ溶解炉	10	1未満	1未満
塩化水素	アルミ溶解保持炉	10	1未満	1未満
	アルミ溶解炉	20	5未満	5未満
フッ素	アルミ溶解保持炉	20	5未満	5未満
	アルミ溶解炉	1	0.3未満~0.4	0.08
	アルミ溶解保持炉	1	0.4	0.4

## &lt;PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)&gt;

物質番号	物質名	取扱量*	排出量				移動量		リサイクル量	分解・除去量	製品への移動量
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
80	キシレン	2,700	1,500	0	0	0	0	0	26	1,200	0
87	クロム及び三価クロム化合物	4,200	0	0	0	0	0	84	630	0	3,500
300	トルエン	5,600	2,500	0	0	0	0	0	1,100	1,900	0
312	バナジウム化合物	1,000	0	0	0	0	0	20	0	0	980
412	マンガン及びその化合物	130,000	0	0	0	0	0	2,600	0	0	130,000
453	モリブデン及びその化合物	1,900	0	0	0	0	0	37	0	0	1,800

※ 有効数字2ケタでまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出量、移動量、リサイクル量、分解・除去量、製品への移動量)の合計とずれる場合があります。

はじめに

環境

CSR

コーポレート  
ガバナンス

データ集

ガイドライン対照表

## 国内グループ製造会社

## (株)スズキ部品製造 浜松工場

【業務内容】 自動車部品切削加工、ダイカスト鋳造と切削加工

【所在地】 静岡県浜松市北区都田町9670

## &lt;環境データ&gt;

## &lt;主な取水源・排水先&gt;

取水源:天竜川 排水先:公共下水道

## &lt;水質関係(水質汚濁防止法、県条例)&gt;

スズキ(株)浜松工場に送水し処理

## &lt;PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)&gt;

PRTR実績報告対象物質はありません。

## &lt;大気関係(大気汚染防止法、県条例)&gt;

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	アルミ溶解炉	180	46~56	51
ばいじん	アルミ溶解炉	0.2	0.02未満	0.02
塩素	アルミ溶解炉	30	0.7未満	0.7
塩化水素	アルミ溶解炉	80	1.1未満~1.2未満	1.15
フッ素及び フッ化水素	アルミ溶解炉	3	0.7未満~0.8未満	0.75
ダイオキシン 類	アルミ溶解炉	1	0.0083	0.0083

## (株)スズキ部品製造 スズキ精密工場

【業務内容】 自動車部品の鍛造、熱処理及び歯切加工

【所在地】 静岡県浜松市北区引佐町井伊谷500

## &lt;環境データ&gt;

## &lt;主な取水源・排水先&gt;

取水源:地下水 排水先:井伊谷川

## &lt;水質関係(水質汚濁防止法、県条例)&gt;

項目	規制値	実績	平均
pH	5.8~8.6	7.1~7.8	7.4
BOD	15	1.1~7.5	2.9
SS	20	0.4~2.0	1.4
油分	5	0.5~1.1	0.63
全窒素	60	8.4~19	13.5
全リン	8	0.06~0.3	0.08
亜鉛	1	0.05~0.13	0.08

## &lt;大気関係(大気汚染防止法、県条例)&gt;

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	連続浸炭炉	180	10~57	14.7
	焼鈍炉	180	10~14	10.75
	冷温水発生器	150	56~58	57
SOx (K値)	連続浸炭炉	17.5	0.09	0.09
	焼鈍炉	17.5	0.09	0.09
	冷温水発生器	17.5	0.07~0.16	0.12
ばいじん	連続浸炭炉	0.2	0.01	0.01
	焼鈍炉	0.2	0.01	0.01
	冷温水発生器	0.1	0.01	0.01

## &lt;PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)&gt;

PRTR実績報告対象物質はありません。

はじめに

環境

CSR

コーポレート  
ガバナンス

データ集

ガイドライン対照表

**(株)スズキ部品製造 遠州精工工場**

【業務内容】 自動車部品の切削加工

【所在地】 静岡県浜松市天竜区山東1246-1

## &lt;環境データ&gt;

## &lt;主な取水・排水先&gt;

取水源:地下水 排水先:二俣川

## &lt;水質関係(水質汚濁防止法、県条例)&gt;

項目	規制値	実績	平均
pH	6.5~8.2	6.9~7.4	7.2
BOD	10	1~9.5	3.6
COD	35	1.9~15	6.6
SS	15	1.0~2.0	1.9
油分	3	0.5~1.0	0.5
クロム	2	0.05~0.1	0.05
全窒素	100	0.64~2.08	1.4
亜鉛	2	0.05~0.06	0.05

## &lt;大気関係(大気汚染防止法、県条例)&gt;

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	ガス焚吸収式冷水機	150	32~43	38
	アルミ集中溶解炉	80	0.8~1.2	1
塩化水素	アルミ集中溶解前炉	80	1.3~1.4	1.4
	ピストン鑄造	80	0.9~1.0	1
塩素	アルミ集中溶解炉	30	1未満	1未満
	アルミ集中溶解前炉	30	1未満	1未満
	ピストン鑄造	30	1未満	1未満
フッ素	アルミ集中溶解炉	3	0.6未満~0.7	0.7
	アルミ集中溶解前炉	3	1.2~1.4	1.3
	ピストン鑄造	3	0.6未満	0.6未満

## &lt;PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)&gt;

物質番号	物質名	取扱量*	排出量				移動量		リサイクル量	分解・除去量	製品への移動量
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
80	キシレン	1,100	820	0	0	0	0	250	0	0	
300	トルエン	1,200	870	0	0	0	0	370	0	0	
71	塩化第二鉄	12,000	0	0	0	0	0	0	0	0	

※ 有効数字2ケタでまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出量、移動量、リサイクル量、分解・除去量、製品への移動量)の合計とずれる場合があります。

**(株)スズキ部品秋田**

【業務内容】 自動車部品の鍛造及び切削加工

【所在地】 秋田県南秋田郡井川町浜井川字家の東192-1

## &lt;環境データ&gt;

## &lt;主な取水・排水先&gt;

取水源:地下水 排水先:井川

## &lt;水質関係(水質汚濁防止法、県条例)&gt;

項目	規制値	実績	平均
pH	5.8~8.6	7.1~7.9	7.5
BOD	20	1.2~6.1	2.6
SS	30	3.8~20.8	8.8
油分	4	0.5~1.1	0.6
全窒素	18	0.7~2.6	1.9
全リン	1.9	0.07~0.24	0.21
亜鉛	2	0.03~0.18	0.07

## &lt;大気関係(大気汚染防止法、県条例)&gt;

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	ボイラー	180	40~82	61
SOx(K値)	ボイラー	0.49	0.01	0.01
ばいじん	ボイラー	0.3	0.0004~0.0008	0.0006

## &lt;PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)&gt;

物質番号	物質名	取扱量*	排出量				移動量		リサイクル量	分解・除去量	製品への移動量
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
1	亜鉛の水溶性化合物	2,500	0	0	0	0	0	0	2,500	0	
71	塩化第二鉄	2,100	0	0	0	0	0	0	2,100	0	
80	キシレン	2,400	120	0	0	0	0	0	0	2,300	
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	3,300	50	0	0	0	0	0	0	3,200	

※ 有効数字2ケタでまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出量、移動量、リサイクル量、分解・除去量、製品への移動量)の合計とずれる場合があります。

はじめに

環境

CSR

コーポレート  
ガバナンス

データ集

ガイドライン対照表

**(株)スズキ部品富山**

【業務内容】 自動車部品の加工

【所在地】 富山県小矢部市水島3200

**<環境データ>****<主な取水源・排水先>**

取水源:地下水 排水先:小矢部川

**<水質関係(水質汚濁防止法、県条例)>**

項目	規制値	実績	平均
pH	6~8	7.1~7.8	7.3
BOD	15	1.0~12.0	3.9
SS	15	1~11	3.9
油分	5	0.5~0.7	0.5
鉛	0.08	0.003	0.003
クロム	2	0.02	0.02
全窒素	120	1~3	1.73
全リン	16	0.06~0.26	0.11
亜鉛	2	0.05~0.62	0.1

**<大気関係(大気汚染防止法、県条例)>**

物質	設備	規制値	実績	平均
NOx	ボイラー	150	70~110	90
	溶解炉	180	23~24	23.5
SOx (K値)	ボイラー	17.5	0.04~0.13	0.085
	溶解炉	17.5	0.0021~0.0038	0.003
ばいじん	ボイラー	0.3	0.00028~0.013	0.00664
	溶解炉	0.2	0.01	0.01

**<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>**

物質 番号	物質名	取扱量*	排出量				移動量		リサイクル量	分解・ 除去量	製品への 移動量
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
309	ニッケル化合物	2,000	0	140	0	0	0	320	0	0	1,500
438	メチルナフタレン	3,700	19	0	0	0	0	0	0	3,700	0

※ 有効数字2ケタでまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出量、移動量、リサイクル量、分解・除去量、製品への移動量)の合計とずれる場合があります。

**(株)スニック 相良工場**

【業務内容】 自動車内装部品の製造

【所在地】 静岡県牧之原市白井1111

**<水質関係(水質汚濁防止法、県条例)>**

スズキ(株)相良工場に送水し処理

**<大気関係(大気汚染防止法、県条例)>**

該当施設なし

**<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>**

物質 番号	物質名	取扱量*	排出量				移動量		リサイクル量	分解・ 除去量	製品への 移動量
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
298	トリレンジイソシアネート	450,000	0	0	0	0	0	0	0	450,000	
448	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	100,000	0	0	0	0	0	0	0	100,000	
297	トリエチルベンゼン	1,000	1,000	0	0	0	0	0	0	0	

※ 有効数字2ケタでまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出量、移動量、リサイクル量、分解・除去量、製品への移動量)の合計とずれる場合があります。

**(株)スニック 竜洋シート工場**

【業務内容】 自動車内装部品の製造

【所在地】 静岡県磐田市東平松1403

**<水質関係(水質汚濁防止法、県条例)>**

該当施設なし

**<大気関係(大気汚染防止法、県条例)>**

該当施設なし

**<PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)>**

物質 番号	物質名	取扱量*	排出量				移動量		リサイクル量	分解・ 除去量	製品への 移動量
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	1,400	1,400	0	0	0	0	0	0	0	
298	トリレンジイソシアネート	740,000	0	0	0	0	0	200	0	740,000	
448	メチレンビス(4,1-フェニレン)=ジイソシアネート	120,000	0	0	0	0	0	50	0	120,000	

※ 有効数字2ケタでまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出量、移動量、リサイクル量、分解・除去量、製品への移動量)の合計とずれる場合があります。

はじめに

環境

CSR

コーポレート  
ガバナンス

データ集

ガイドライン対照表

**(株)スニック 竜洋パイプ工場**

【業務内容】 自動車用パイプ部品の製造

【所在地】 静岡県磐田市南平松6-2

## &lt;環境データ&gt;

## &lt;主な取水源・排水先&gt;

取水源:天竜川 排水先:天竜川

## &lt;水質関係(水質汚濁防止法、県条例)&gt;

項目	規制値	実績	平均
pH	5.8~8.6	7.2~7.7	7.5
BOD	25(20)*	1未満~10.8	5.9
SS	50(40)*	1.7~6	3.9
油分	5	0.5未満~1.3	0.9
全窒素	120(60)*	1.7~8.4	5.1
亜鉛	2	0.01~0.17	0.09

※ ( )内は日間平均を示す。

## &lt;大気関係(大気汚染防止法、県条例)&gt;

該当施設なし

## &lt;PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)&gt;

物質番号	物質名	取扱量*	排出量				移動量		リサイクル量	分解・除去量	製品への移動量
			大気	河川	土壌	埋立	下水道	廃棄物			
87	クロム及び三価クロム化合物	17,000	170	0	0	0	0	0	430	0	17,000
308	ニッケル	6,000	59	0	0	0	0	0	150	0	5,700
412	マンガン及びその化合物	2,100	20	0	0	0	0	0	50	0	2,000

※ 有効数字2ケタでまとめているため、取扱量(合計)が右の内訳(排出量、移動量、リサイクル量、分解・除去量、製品への移動量)の合計とずれる場合があります。

**(株)スニック 浜北トリム工場**

【業務内容】 自動車内装樹脂部品の製造

【所在地】 静岡県浜松市浜北区平口5158-1

## &lt;水質関係(水質汚濁防止法、県条例)&gt;

該当施設なし

## &lt;大気関係(大気汚染防止法、県条例)&gt;

該当施設なし

## &lt;PRTR対象物質(PRTR法に基づく集計値)&gt;

PRTR実績報告対象物質はありません。

## スコープ1・2・3の過去3年間のデータ

	単位	2015年度	2016年度	2017年度
バリューチェーン全体 (スコープ1・2・3の合計)	万t-CO2	7,737	7,242	7,863
企業活動による直接排出 (スコープ1)	万t-CO2	51	56	60
エネルギー起源の間接排出 (スコープ2)	万t-CO2	54	56	61
その他の間接排出 (スコープ3)	万t-CO2	7,632	7,130	7,742

※1 算定範囲:スズキ(株)および国内製造・非製造子会社65社、海外製造・非製造子会社32社

※2 CO<sub>2</sub>換算係数:電力は、国内は各電力会社公表値、海外はIEA(CO<sub>2</sub> Emissions From Fuel Combustion 2017 edition)の換算係数を使用電力以外はIPCC2006(2006 IPCC Guidelines for National Greenhouse Gas Inventories)の換算係数、都市ガスは供給会社の公表値を使用

※3 過去データを一部修正(2016年度のスコープ3排出量)

はじめに

環境

CSR

コーポレート  
ガバナンス

データ集

ガイドライン対照表

## 環境取り組みの歴史

1970年	3月	大阪万国博覧会会場で、キャリイバン電気自動車10台が使用される	
1971年	7月	生産工程の環境対策部門として生産技術部設備課に環境保安係を設置	
1977年	4月	スズキグループ安全衛生公害問題研究協議会を発足	
1981年	12月	(財)機械工業振興助成財団(現:スズキ財団)主催の省エネルギーシンポジウムを開催	
1989年	8月	製品も含め環境問題への全社的取り組みを強化するため、環境問題審議会を設置	
1990年	3月	全国の代理店に回収機を配備し、カーエアコン冷媒の特定フロンの回収、再利用を開始	
1991年	12月	発泡用特定フロン(シート等のウレタンフォーム材に使用)の使用を全廃	
1992年	1月	樹脂製部品への材料名の表示を開始 無段変速装置SCVTを開発(カルタスコンバーチブルに搭載)	
	10月	天然ガススクーターを開発	
	11月	廃棄物の減量化と再利用を推進するため、生産技術開発部に廃棄物対策グループを設置	
	12月	アルト電気自動車、エブリイ電気自動車を発売	
1993年	3月	「環境保全取り組みプラン」を策定	
	5月	環境保安係と廃棄物対策グループを統合し、環境産廃グループとして再編、強化	
	12月	カーエアコン冷媒の代替フロン化を完了	
1994年	6月	販売店で発生する使用済みバンパーの回収、リサイクルを開始	
	8月	塗装排水汚泥の再利用設備を設置し、アスファルトシートへの再利用を開始 鋳造工場の鋳物廃砂のセメント原料への再利用を開始	
1995年	1月	廃棄物焼却炉を更新し、廃棄物の減量化と廃熱利用(蒸気)を拡大	
	8月	省エネルギーを推進するため湖西工場にコージェネレーション設備を導入	
1996年	4月	電動アシスト自転車「LOVE(ラブ)」を発売	
	5月	「環境保全取り組みプラン(フォローアップ版)」を策定	
	12月	相良工場にコージェネレーション設備を導入	
1997年	3月	ワゴンR天然ガス自動車を開発	
	5月	アルト電気自動車、エブリイ電気自動車を大幅に改良して発売	
	10月	4ストローク船外機がシカゴボートショーで技術革新賞を受賞	
	12月	「車の解体マニュアル」を発行し、代理店に配付	
1998年	2月	大須賀工場にコージェネレーション設備を導入 「使用済み自動車リサイクル・イニシアティブ自主行動計画」を策定	
	4月	ハンガリーの生産工場のマジャールスズキ社でISO14001の認証を取得	
	7月	湖西工場でISO14001の認証を取得	
	10月	新型軽自動車で10・15モード燃費29.0km/ℓを達成したリーンバーンエンジン搭載車を発売 スズキ4ストローク船外機が2年連続で技術革新賞を受賞	
	12月	環境に配慮したパイプ曲げ加工技術を開発	
1999年	3月	二輪車用の新触媒を開発(スクーター「レッツII」に搭載)	
	5月	優れた燃費性能のアルト「Scリーンバーン」CVTを新発売	
	6月	「ワゴンR 天然ガス(CNG)自動車」を新発売	
	8月	エブリイ電気自動車の新モデルを発売	
	9月	大須賀工場、相良工場でISO14001の認証を取得	
	10月	アルトのアイドルリング・ストップシステム採用車を発売 「スズキPu-3 コミュータ」が東京モーターショー「ザ ベスト コンセプトカー」特別賞を受賞 電動アシスト自転車「LOVE(ラブ)」シリーズをフルモデルチェンジし発売	
	11月	インドのマルチ・ウドヨグ社(現:マルチ・スズキ・インディア社)でISO14001の認証を取得 有機溶剤を使用せずに超音波で洗浄する、環境に配慮した超音波車上洗浄機「SUC-300H・600H」を新発売	
	12月	「エブリイ天然ガス(CNG)自動車」を新発売	
	2000年	1月	小型のバンパー破砕機を自社開発
	12月	豊川工場でのISO14001の認証を取得	
2001年	1月	国内の二・四輪工場の塗装工程での鉛使用を全廃	
	3月	バンパー破砕機の設置を全国に拡大	
	4月	技術、製品、製造、流通等の環境問題を担当する環境企画グループを新設 環境問題への取り組みを強化するため、これまでの環境問題審議会に替わり環境委員会を設置	
	8月	埋立廃棄物を大幅に削減し、ゼロレベル化目標を達成	
	10月	GMと燃料電池技術分野で相互協力	



はじめに

環境

CSR

コーポレート  
ガバナンス

データ集

ガイドライン対照表

2002年	1月	電気自動車のコンセプトカー「Covie」がデトロイトモーターショーにおいて、米オートモーティブ・ニュース誌の「コンセプトカー最優秀環境賞」受賞
	3月	アイドリングストップ運動開始
	7月	軽四輪車用エンジンで初めて、優れた燃費性能と高出力を両立した直噴ターボエンジンを実用化
2003年	1月	軽乗用車で初となるハイブリッド自動車「ツイン」を発売 省資源に優れた新発想のスクーター「チョイノリ」を発売
	3月	磐田工場でISO14001の認証を取得
		本社工場でISO14001の認証を取得 風力発電設備を引佐研修センターに設置
	7月	IMDS (International Material Data System) に加入
	9月	グリーン調達ガイドラインを発行 「超・低排出ガス」認定車を発売
2004年	1月	自再協、ART を他社メーカーと共同で設立
	2月	風力発電装置を湖西工場に設置 (2基)
	7月	二輪車リサイクル料金を発表 使用済み自動車 (四輪車) リサイクル料金を発表
		8月
2005年	7月	アルミ表面のアルマイト皮膜を平滑化し、耐食性、耐久性を向上させる「ハイパー・アルマイト」を開発
	8月	「チームマイナス6%」に参加
	10月	舟艇工業会による「FRP 船リサイクルシステム」への参画とリサイクル料金の発表
2006年	9月	燃料電池を搭載した電動車いす「MIO (ミオ)」を開発し、国際福祉機器展に参考出品
2007年	10月	燃料電池二輪車「クロスゲージ」を開発し、東京モーターショーへ参考出品
	11月	スズキ環境管理規程の制定
2008年	6月	新開発の燃料電池車「SX4-FCV」の大臣認定を取得
	7月	北海道洞爺湖サミット 国際メディアセンター「環境ショーケース」に「SX4-FCV」を出展
2009年	4月	スズキの「歴史」と「ものづくり」を紹介する「スズキ歴史館」が開館 「低価格・低環境負荷を実現した高速めっきシステムの開発と実用化」により「市村産業賞 貢献賞」を受賞
		インドのマルチ・スズキ・インディア社がトレーラー輸送から2段式貨物列車輸送に変更し、CO <sub>2</sub> 排出量削減に貢献したことからゴールドピーコックエコ革新賞を受賞
	10月	プラグインハイブリッド四輪車「スイフト レンジエクステンダー」、燃料電池スクーター「バーグマン・フューエルセル・スクーター」を開発し、東京モーターショーへ参考出品
2010年	5月	「スイフト プラグインハイブリッド (スイフト レンジエクステンダー)」国土交通省の型式指定を取得
	9月	電動スクーター「e-Let's」を開発製品化に向けて公道走行調査を開始
2011年	3月	燃料電池スクーターで世界初となる「欧州統一型式認証」を取得
	5月	「低コストでの軽量化を実現したアルミ押し出し材製リヤロアームの開発」により「第61回自動車技術会賞 技術開発賞」を受賞
2012年	2月	英国インテリジェント・エナジー社と燃料電池システムを開発・製造する合弁会社を設立
	7月	軽量で材料着色化に優れた自動車用ポリプロピレン樹脂材料を開発
	9月	燃費向上技術「エネチャージ」、「新アイドリングストップシステム」、「エコール」を開発
2013年	11月	スズキの次世代環境技術「スズキグリーン テクノロジー」2013年次RJCカーオブザイヤーを受賞
	3月	「スズキ環境計画」および「スズキ生物多様性ガイドライン」を策定
	7月	優れた燃費性能と力強い走りを両立した「デュアルジェット エンジン」を開発
	11月	牧之原市中里工業団地にメガソーラー設置を決定
2014年	1月	優れた燃費性能の新トランスミッション「Auto Gear Shift (オートギヤシフト)」を開発
	8月	エネチャージをさらに進化させた「S・エネチャージ」を開発
2015年	1月	2気筒0.8Lディーゼルエンジンを開発し、インドに投入
2016年	1月	相良工場が平成27年度 省エネ大賞 [省エネ事例部門] を受賞
	4月	スズキ牧之原太陽光発電所が完成
	11月	オートギヤシフトと組み合わせたスズキ独自の平行式ハイブリッドシステムを開発
2017年	3月	燃料電池二輪車「バーグマン フューエルセル」でナンバープレートを取得し国内で公道走行を開始
	4月	スズキ・東芝・デンソー、インドに自動車用リチウムイオン電池パック製造の合弁会社設立に基本合意 「高外観樹脂材料の開発と無塗装材着部品への適用」が第49回「市村産業賞 貢献賞」を受賞
		トヨタとスズキ、インド市場向けEV投入に関する覚書を締結
	12月	「環境計画2020」を策定、CO <sub>2</sub> 排出量の削減目標などを新たに設定
2018年	3月	トヨタとスズキ、インドでハイブリッド車などの相互供給に向けて基本合意

## 会社データ

## 1.台数情報

			単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
四輪車	生産台数		千台	3,043	2,951	3,074	3,338
		国内		1,055	861	871	971
		海外		1,988	2,090	2,203	2,367
		うちインド		1,308	1,424	1,585	1,781
	販売台数		千台	2,867	2,861	2,918	3,224
		国内		756	630	639	668
		海外		2,111	2,231	2,279	2,556
		うちインド		1,171	1,305	1,445	1,654
ハイブリッド車販売台数*			千台	55	249	389	462
ウィズシリーズ販売台数			台	2,519	2,351	2,168	2,636
二輪車	生産台数		千台	1,799	1,480	1,370	1,630
		国内		154	122	141	152
		海外		1,645	1,358	1,229	1,478
	販売台数		千台	1,766	1,501	1,367	1,580
		国内		67	61	62	60
		海外		1,699	1,440	1,305	1,520

\*ハイブリッド車は「マイルドハイブリッド」「S-エネチャージ」「SHVS」を含む

## 2.財務情報(連結)

売上高			億円	30,155	31,807	31,695	37,572	
	四輪車			27,020	28,785	28,956	34,358	
		二輪車			2,505	2,339	2,063	2,464
		マリン他			630	683	676	750
		国内			10,946	10,479	10,375	11,167
	海外			19,208	21,328	21,320	26,405	
		欧州			3,720	4,047	4,253	5,106
		北米			660	670	561	625
		アジア			12,145	13,947	13,930	17,732
	その他			2,683	2,663	2,576	2,942	
営業利益			億円	1,794	1,953	2,667	3,742	
経常利益			億円	1,943	2,091	2,867	3,828	
当期純利益				969	1,167	1,600	2,157	
設備投資額			億円	1,945	1,715	1,988	2,134	
減価償却費			億円	1,344	1,683	1,634	1,509	
研究開発費			億円	1,259	1,306	1,315	1,394	
有利子負債残高				5,547	5,293	6,399	5,779	
総資産			億円	32,528	27,020	31,160	33,408	
純資産			億円	17,014	11,877	13,870	15,952	
自己資本比率			%	45.6	35.4	35.9	38.8	
1株当たり当期純利益			円	172.67	234.98	362.54	488.86	
1株当たり配当額(年間)				27.00	32.00	44.00	74.00	
ROE			%	6.9	9.6	15.4	17.9	

## 3.従業員情報

		単位	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
従業員数		人	14,751	14,932	15,138	15,269
	男		13,347	13,467	13,603	13,711
	女		1,404	1,465	1,535	1,558
	うち管理職数	人	926	965	1,014	1,049
	男		921	957	1,004	1,037
	女		5	8	10	12
新規採用数		人	571	635	794	642
	男		496	532	674	541
	女		75	103	120	101
	うち大卒以上	人	462	472	585	456
	男		425	412	523	396
	女		37	60	62	60
障がい者雇用率	%	2.09	2.08	2.04	2.02	
離職率	%	4.3	4.1	3.8	4.2	
従業員数(連結)	人	57,409	61,601	62,992	65,179	
育児時短勤務制度利用者数		人	126	162	179	204
	男		1	2	3	3
	女		125	160	176	201
育児休職利用者数		人	66	74	68	91
	男		1	2	8	7
	女		65	72	60	84
育児休職復職率		%	98.5	100.0	91.2	97.3
	男		100.0	100.0	100.0	100.0
	女		98.5	100.0	90.0	97.1
介護休職利用者数		人	3	2	6	2
	男		1	2	4	1
	女		2	0	2	1
介護休職復職率		%	33.3	100.0	50.0	100.0
	男		100.0	100.0	25.0	100.0
	女		0.0	-	100.0	100.0
休業度数率	%	0.03	0.09	0.15	0.21	

## 4.その他

その他	社外取締役数	人	2	2	2	2
	連結子会社数	社	133	136	136	131
	持分法適用関連会社数		35	33	32	31

## 5.加入している主な外部団体

一般社団法人日本自動車工業会、公益社団法人自動車技術会、一般社団法人日本経済団体連合会